# 疾病の成り立ちと回復の促進

#### 目標Ⅰ.健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健 康	A 疾病の予防・早期 発見	a 健康診断、健康診 査	臨床検査:第1章 C-1「スクリーニング検査」(p.9~10) 医学概論:第8章 C「定期的健康診断」(p.132~133)、D「予防的定期的総合健 診の意義」(p.133~137)
健康の維持増進		b 予防接種	母性看護学 [2] (母性看護学各論):第5章 C-3「生後1か月健康診査に向けた 退院時の看護」(p.303~306) 病理学:第5章 C-4「予防接種」(p.92) 医学概論:第8章 B-2「防疫──感染症の予防」(p.126)
		c 健康教育	成人看護学 [1] (成人看護学総論):第3章A「生活行動のなかで健康行動を生みはぐくむ援助」(p.90~101)、第4章B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.165~168)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.274~291) 医学概論:第3章2「健康に対する個人と社会の責任」(p.51)、第8章「病気の予防」(p.122~139)
2 疾病	A 疾病の要因	a 内因、外因	病理学:第 1 章 B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学:第 1 章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 医学概論:第 4 章 B「病気の原因」(p.59~68)
疾病の成立と疾病からの回復		b 生活習慣	成人看護学 [1] (成人看護学総論):第5章 C「生活行動がもたらす健康問題と その予防」(p.177~187) 栄養学:第10章 A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.238~241)、B「生活習 慣病の予防」(p.241~242) 病理学:第1章 B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学:第1章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 総合医療論:第3章 C「疾病の一次予防と健康増進」(p.73~77) 社会保障・社会福祉:第8章 F-1-2「疾病構造の変化とキュアからケアの医療 へ」(p.250)
		c ストレス	基礎看護学 [1] (看護学概論):第2章 A-3-1「ストレス学説にみる心身の相互作用」(p.83~84) 成人看護学 [1] (成人看護学総論):第5章 B「健康バランスに影響を及ぼす要因」(p.172~177) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第2章 C「ストレスと健康の危機」(p.39~45) 総合医療論:第3章 F-1-1「ストレス」(p.90)
	B 生体の回復	a 回復過程	病態生理学:第 1 章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)
		b 回復に影響する身 体的/心理・社会 的要因	病態生理学:第 1 章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)

#### 目標Ⅱ.疾病の要因と生体反応について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 基本的な病因と	A 細胞の障害	a 萎縮、変性、肥大	病理学:第2章A「細胞の損傷と適応」(p.14~23) 病態生理学:第1章C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9~10) 医学概論:第5章A-2「進行性の変化」(p.77)、A-3「退行性の変化」(p.77~ 78)
			病理学:第2章 A-3「細胞の死」(p.19) 病態生理学:第1章 C-2「細胞の死」(p.10~11) 医学概論:第5章 A-3-3「壊死」(p.78)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 創傷と治癒	病理学:第2章B「組織の修復と創傷治癒」(p.23~26) 病態生理学:第1章C-4-2「創傷治癒」(p.13) 臨床外科看護総論:第1章E「創傷治癒」(p.34~52) 救急看護学:第6章O「創傷処置」(p.351~352)
	B 生体の障害	a 循環障害、臓器不全	成人看護学 [3] (循環器):第3章 H「ショック」(p.44~46) 病理学:第3章「循環障害」(p.28~48) 病態生理学:第1章 B「循環障害」(p.4~8) 救急看護学:第5章 D-1「ショックとは」(p.198~202) クリティカルケア看護学:第3章 C「循環機能障害」(p.80~101)、I「多臓器障害」(p.158~165) 医学概論:第5章 A-1「血行障害による病変」(p.72~77)
		b 炎症、損傷	病理学:第4章 A「炎症とその分類」(p.50~54) 病態生理学:第1章 C-4「炎症」(p.12~14) 薬理学:第6章 B「炎症と抗炎症薬」(p.126~133) 微生物学:第7章 A-6「炎症性サイトカインと急性期反応」(p.102) 臨床外科看護総論:第1章 C「炎症」(p.21~25)、第2章 C-1「外傷」(p.63~67) 医学概論:第5章 A-4「炎症」(p.78~85)
		c 免疫異常、アレル ギー	成人看護学 [11] (アレルギー):第2章 C「アレルギーのしくみ」(p.24~30) 成人看護学 [11] (膠原病):第2章「自己免疫疾患とその機序」(p.122~128) 病理学:第4章 B「免疫と免疫不全」(p.54~60)、D「アレルギーと自己免疫疾患」(p.61~69) 病態生理学:第3章 C「免疫反応の過剰」(p.46~54) 微生物学:第7章 B-7「アレルギー(過敏症)」(p.122)、B-8「自己寛容と自己免疫」(p.123)
		d 内分泌・代謝異常	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章A「内分泌疾患」(p.82~132)、B「代謝疾患」(p.132~187) 生化学:第4章G「糖質代謝に関する遺伝性疾患」(p.94~96)、第6章D「脂質代謝に関する遺伝性疾患」(p.127)、第14章C-5「ホルモンの異常による疾患」(p.268) 病理学:第6章「代謝障害」(p.94~104)、第15章「内分泌系の疾患」(p.276~286) 病態生理学:第10章「内分泌・代謝のしくみと病態生理」(p.196~220)
		e 廃用症候群	老年看護 病態・疾患論:第6章A「高齢者におけるリハビリテーションとは」(p.284)病理学:第7章A「個体の老化と老年症候群」(p.106~107)リハビリテーション看護:第3章B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94~96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102~106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106~115)、第4章A-5-2「運動障害」(p.148~164)、B-5-1「運動障害」(p.201~218)
		f 老年症候群	老年看護 病態・疾患論:第2章「老年症侯群」(p.48~92) 病理学:第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106~107) 病態生理学:第1章 G-1-2「個体の老化」(p.24~25)
		g 遺伝子異常、先天 異常	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15) 生化学:第4章 G「糖質代謝に関する遺伝性疾患」(p.94~96)、第6章 D「脂質代謝に関する遺伝性疾患」(p.127)、第10章 B-3-2「メンデルの法則に従う遺伝病」(p.180~181)、第11章 D「DNA 修復機構の異常による遺伝性疾患」(p.209) 病理学:第8章「先天異常と遺伝子異常」(p.116~134) 病態生理学:第1章 F「先天異常と遺伝子異常」(p.21~24)
		h 腫瘍	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 A-2「脳腫瘍」(p.147~153) 生化学:第15章「がん」(p.270~283) 病理学:第9章「腫瘍」(p.136~166) 病態生理学:第1章 F「腫瘍」(p.18~21) 臨床外科看護総論:第2章 B「腫瘍」(p.55~63) がん看護学:第2章「がんの病態と臨床経過」(p.44~88) 医学概論:第5章 A-5「腫瘍」(p.85~94)
		i 中毒、放射性障害	生化学: 第9章 B「生体異物代謝」(p.160~164)、第11章 B-1「DNA 損傷」 (p.199~200) 病理学: 第9章 C-2「腫瘍の発生因子」(p.156)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<mark>救急看護学</mark> :第 5 章 J-NOTE「放射線障害」(p.267)、第 5 章 K「中毒への対応」(p.268~273) 臨床放射線医学:第 11 章 A「放射線障害」(p.246~250)
	C 感染	a 人と病原体の関わ り	成人看護学 [11] (感染症):第1章 A「あなたを取り巻く感染症」(p.222~224) 微生物学:第1章 B「微生物と人間」(p.7)、第2章 E「常在細菌叢」(p.34~ 37)、第6章 A-2「生体と病原体」(p.71~72)
		b ウイルス	成人看護学 [11] (感染症):第2章 A「感染症とはなにか」(p.234~239)、第5章 「疾患の理解」(p.286~340) 病理学:第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82~87) 病態生理学:第1章 D-1-2「病原体」(p.15) 薬理学:第3章 「抗感染症薬」(p.66~93) 微生物学:第5章「ウイルスの性質」(p.56~66)、第16章「おもなウイルスとウイルス感染症」(p.310~361) 臨床検査:第8章 C-6「ウイルス」(p.267~270)
		c 細菌	成人看護学 [11] (感染症):第2章A「感染症とはなにか」(p.234~239)、第5章「疾患の理解」(p.286~340) 病理学:第5章B「おもな病原体と感染症」(p.82~87) 病態生理学:第1章D「感染症」(p.14~18) 薬理学:第3章「抗感染症薬」(p.66~93) 微生物学:第2章「細菌の性質」(p.14~38)、第13章「病原細菌と細菌感染症」 (p.218~286) 臨床検査:第8章C「各種病原体と検査」(p.257~272)
		d 真菌	成人看護学 [11] (感染症):第2章 A「感染症とはなにか」(p.234~239)、第5章 P「真菌感染症」(p.322~324) 薬理学:第3章「抗感染症薬」(p.66~93) 微生物学:第3章「真菌の性質」(p.40~96)、第14章「病原真菌と真菌感染症」 (p.288~296) 臨床検査:第8章 C-2「真菌」(p.264~265)
		e 薬 剤 耐 性 〈AMR〉(多剤耐 性菌)	成人看護学 [11] (感染症):第5章S「多剤耐性菌感染症」(p.338~340)病理学:第5章C-3「薬剤耐性菌」(p.89)病態生理学:第1章D-3-2「病原体と化学療法薬」(p.17~18)薬理学:第1章A-3「薬物耐性」(p.69)微生物学:第11章A-3「薬剤耐性」(p.174~175)、第12章C-2-3「院内感染で問題となっている薬剤耐性菌」(p.203~204)公衆衛生:第6章D-6「多剤耐性菌」(p.176)臨床検査:第8章A-5「耐性菌の検査」(p.247)

## ■ 目標Ⅲ.疾病に対する診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 疾 病	A 疾病の診断の基本 と方法	a 医療面接(問診)、 身体診察(視診・ 触診・聴診・打診)	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I ):第2章 C−1「フィジカルアセスメントに必要な技術」(p.78~85)
疾病に対する医療		b 検体検査	病理学:付章「病理診断の実際」 (p.320~329) 臨床検査:第 1 章 B-1「検体検査」 (p.8)
療		c 生体機能検査	臨床検査:第 10 章 I 「生理機能検査」(p.289~334)
		d 画像検査	臨床検査:第 10 章 II 「画像検査」(p.334~344) 臨床放射線医学:第 1 部「画像診断」(p.18~168)
		e 内視鏡検査	成人看護学 [5] (消化器):第4章 B-6「内視鏡検査」(p.89~94) 臨床検査:第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345~355)
		f 心理・精神機能検 査	精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-NOTE「心理的特性をはかる検査」(p.103~104)
	B 疾病に対する薬物 療法	a 与薬方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ):第9章「与薬の技術」(p.285~343) 看護の統合と実践 [2] (医療安全):第2章 E-1「事故の視点からみた内服与薬 業務の特性──注射業務との違いから理解する」(p.96~100) 薬理学:第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.25~30)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床薬理学:第1章 A「医薬品の取り扱い」(p.6~22)、B-1「患者と薬物療法」 (p.23~25)
		b 薬物動態(吸収、 分布、代謝、排泄)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ):第9章 A-1「薬物の基本知識」(p.286~288) 薬理学:第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.25~30) 臨床薬理学:第1章 A「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12~17)
		c 薬効	薬理学:第2章A「薬が作用するしくみ(薬力学)」(p.16~23)   臨床薬理学:第1章A「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12~17)
		d 薬理作用と副作用 (有害事象)	看護の統合と実践 [2] (医療安全):第2章-E-1-3「間違いが事故に発展する危険性――注射業務との比較」(p.100) 薬理学:第2章 E-2「薬物の副作用」(p.50~53) 臨床薬理学:第1章 B-2「薬物治療の評価」(p.26~30)
	C 疾病に対する薬物 療法以外の治療	a 手術、麻酔	[「成人看護学」各巻の第4章 B または C] 薬理学:第8章 B「全身麻酔薬」(p.160~164) 臨床外科看護総論:第3章 A「麻酔法」(p.76~101)、第4章「外科的治療の実際」(p.144~182) 臨床薬理学:第2章 F「鎮静薬」(p.65~72)、第4章 G-1「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」(p.297~303)
		b 放射線治療	病理学:第 9 章 D-4-2「放射線療法」 (p.162) がん看護学:第 4 章 C「放射線療法」 (p.180~200) 臨床放射線医学:第 2 部「放射線治療」 (p.169~242)
		c 輸血	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ):第9章 H-2-4「静脈内注射」(p.320~336)、I「輸血管理」(p.337~343) 成人看護学 [4] (血液・造血器):第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.94~96) 看護の統合と実践 [2] (医療安全):第2章 D「輸血業務と事故防止」(p.83~95) 薬理学:付章「輸液製剤・輸血剤」(p.304~316) 臨床外科看護総論:第3章 E「輸血療法」(p.124~135) 救急看護学:第6章 H-2「輸血」(p.325~326) 臨床検査:第6章 H「輸血に関する検査」(p.205~208)
		d リハビリテーショ ン、運動療法	成人看護学 [1] (成人看護学総論):第8章「障害がある人の生活とリハビリテーション」(p.234~248) 成人看護学 [3] (循環器):第6章 F「心臓リハビリテーションと看護」(p.357~367) 成人看護学 [7] (脳・神経):第6章 C-3「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.314~318) リハビリテーション看護:全体 医学概論:第7章 E「リハビリテーション医学」(p.116~119)
		e 食事療法	栄養学:第9章F「疾患・症状別食事療法」(p.206~226) 栄養食事療法:全体
		f 臓器移植、再生医療	成人看護学 [1] (成人看護学総論):第13章 A-1「移植・再生医療」(p.406~410) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第4章 F「腎移植」(p.109~112) 病理学:第4章 D「移植と再生医療」(p.69~74) 臨床外科看護総論:第4章 C「臓器移植」(p.169~182) 臨床外科看護格論:第1章 I -A-6-3「肺がんの治療・予後」(p.17~21)、第2章 I -A-5-2「心臓移植」(p.111)、第3章 I -D-11「肝移植」(p.272~273) 救急看護学:第5章 O-1-4「脳死と臓器移植」(p.287~289)
		g 人工臓器・透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第4章 E「透析療法」(p.102~109)
		h 精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第6章 C「精神療法」(p.256~274)
	D 医療による健康被 害	a 薬害(化学物質)	成人看護学[11](アレルギー):第4章H「薬物アレルギー」(p.51~53) 病理学:第1章B-3-2「医原病」(p.11) 病態生理学:第1章A-2-2「公害病・医原病・職業病」(p.3~4)
		b ウイルス性肝炎	成人看護学 [5] (消化器):第5章 D-1「肝炎」(p.210~230) 成人看護学 [11] (感染症):第5章 F-4「ウイルス性肝炎」(p.299~301) 病理学:第13章 D-2-2「ウイルス性肝炎」(p.243~245) 微生物学:第16章 C-1「肝炎ウイルス」(p.352~358)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 院内感染	基礎看護学 [3] (基礎看護技術II):第13章 A-2「院内感染の防止」(p.423~426) 成人看護学 [11] (感染症):第1章 A-1「多剤耐性菌と院内感染」(p.222~224)、第2章 A-2「市中感染と医療関連感染」(p.237~238)病理学:第5章 C-2「院内感染」(p.90)微生物学:第12章 B-2「院内感染とその特徴」(p.202~205)
		d 針刺し事故	基礎看護学 [3] (基礎看護技術II):第13章 H「針刺し防止策」(p.456~459) 成人看護学 [11] (感染症):第6章 A-8「職業感染対策」(p.356~359) 看護の統合と実践 [2] (医療安全):第7章 A「職業感染」(p.218~220)、第8章 B-3-3「注射・点滴実施時の間違い」(p.253~254) 臨床検査:第2章 E-4-1「針刺しなどによる血液曝露」(p.54~55)

### ■ 目標Ⅳ. 各疾患の病態と診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 呼吸機能	A 呼吸器系の疾患の 病態と診断・治療	a 炎症性疾患(気管 支炎、肺炎、間質 性肺炎、胸膜炎)	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 A-1-2「急性気管支炎」(p.139)、A-3「肺炎」(p.142~153)、B「間質性肺疾患」(p.164~176)、I-1-1「胸膜炎」(p.213~214) 成人看護学 [11] (感染症):第5章 B「上気道感染症」(p.287~289)、C「下気道感染症」(p.289~292) 病理学:第12章 A-1「気道」(p.202)、B-2「肺炎」(p.206~213) 病態生理学:第7章 C「呼吸器系の防御機構の障害」(p.126~132)
		b 気管支喘息	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 C-1「気管支喘息」(p.176~181) 成人看護学 [11] (アレルギー):第4章 A「気管支喘息」(p.40~42) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第5章 B-2-2「気管支喘息」(p.113~ 117) 病理学:第12章 B-3-3「気管支喘息」(p.215~216) 病態生理学:第7章 B-4「気管支喘息」(p.131~132) 臨床薬理学:第3章 F「気管支喘息」(p.111~119)
		c 慢性閉塞性肺疾患 〈COPD〉	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 C-3「慢性閉塞性肺疾患」(p.183~188) 病理学:第12章 B-3-NOTE「慢性閉塞性肺疾患」(p.214) 病態生理学:第7章 D-5「閉塞性肺疾患」(p.135~138) リハビリテーション看護:第5章 A「慢性閉塞性肺疾患」(p.264~280) 臨床検査:第10章 I-B「呼吸機能検査」(p.308~318) 臨床薬理学:第3章 G「慢性閉塞性肺疾患」(p.120~124)
		d 肺循環障害(肺高 血圧、肺塞栓症)	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 D-1「肺血栓塞栓症」(p.188~191)、D-2 「肺高血圧症」(p.191~192) 病理学:第12章 B-4「肺の循環障害」(p.217) 病態生理学:第7章 F「肺循環の障害」(p.138~139)
		e 肺結核	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 A-4「結核」(p.153~163) 成人看護学 [11] (感染症):第5章 C-3「肺結核」(p.291~292) 病理学:第12章 B-2-1「肺結核症」(p.208) 病態生理学:第7章 C-2-5「肺結核」(p.130) 臨床検査:第8章 C-3「抗酸菌」(p.265~266)
		f気胸	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 I-3「自然気胸」(p.214~217) 病理学:第12章 C-3「気胸」(p.221) 病態生理学:第7章 B-2-2「気胸」(p.134) 臨床外科看護各論:第1章 I -B-1「自然気胸」(p.22~23)
		g 腫瘍(肺癌、中皮腫)	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 G「肺腫瘍」(p.199~212)、I-5「胸膜腫瘍」(p.217~218) 病理学:第12章 B-5「肺がん」(p.218~221)、C-1-4「悪性胸膜中皮腫」(p.222) 病態生理学:第7章 D-3「気道における空気の通過障害」(p.134) 臨床外科看護各論:第1章 I -A-5「肺良性腫瘍」(p.13)、I -A-6「肺がん」(p.13~21)、I -B-3「悪性胸膜中皮腫」(p.23) がん看護学:第4章 C-2-1「治療決定の例(肺がん)」(p.186~187) 臨床検査:第6章 G「腫瘍マーカーの検査」(p.201~204)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 循環機能	A 心臓の疾患の病態 と診断・治療	a 先天性心疾患(心 房中隔欠損症、心 室中隔欠損症、動 脈 管 開 存 症、 Fallot〈ファロー〉 四徴症)	成人看護学 [3] (循環器):第5章I「先天性心疾患」(p.215~223) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第8章 B-2「先天性心疾患」(p.196~205) 病理学:第9章B-2「先天性心疾患(心奇形)」(p.174~177) 病態生理学:第6章A-2-c-1「先天性心疾患」(p.100~103) 臨床外科看護各論:第6章I-D「先天性心疾患」(p.513~532) 臨床検査:第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)、II-A-2「心臓超音波(心エコー)検査」(p.335~336)
		b 虚血性心疾患(狭 心症、急性冠症候 群)	成人看護学 [3] (循環器):第5章 A「虚血性心疾患」(p.122~151) 病理学:第10章 B-5「虚血性心疾患」(p.179~180) 病態生理学:第6章 A-2-a「冠循環の異常」(p.93~97) 臨床外科看護各論:第2章 I-A-3-b「虚血性心疾患」(p.99~105) リハビリテーション看護:第5章 B「虚血性心疾患」(p.281~298) 臨床検査:第5章 A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章 I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学:第3章 B「急性冠症候群」(p.86~91)
		C 心筋症(肥大型心筋症、拡張型心筋症、拡張型心筋症)	成人看護学 [3] (循環器):第5章 G-1「心筋症」(p.209~213) 病理学:第10章 B-6「心筋症」(p.183) 病態生理学:第6章 A-2-c-3「心筋症」(p.105) 臨床検査:第5章 A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章 I -A「循環機能 検査」(p.289~308)
		d 心不全(急性心不全) 全、慢性心不全)	成人看護学 [3] (循環器):第5章 B「心不全」(p.152~164) 病理学:第10章 B-3「心不全」(p.177~187) 病態生理学:第6章 A-2-e「心不全」(p.106~107) 臨床検査:第5章 A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章 I -A「循環機能 検査」(p.289~308) 臨床薬理学:第3章 C「心不全」(p.92)
		e 心タンポナーデ	成人看護学 [3] (循環器):第5章 F-2「心タンポナーデ」(p.208) 病理学:第10章 B-5-2「心筋梗塞」(p.180~183) 病態生理学:第6章 b「心膜の障害」(p.105~106) 救急看護学:第5章 I-1-3「各部の外傷」胸部外傷(p.243~245) 臨床検査:第10章 I -A「循環機能検査」(p.289~308)、II-A-2「心臓超音波 (心エコー)検査」(p.335~336)
		f 不整脈(上室性頻 脈性不整脈、心室 性頻脈性不整脈、 徐脈性不整脈)	成人看護学 [3] (循環器):第5章 D「不整脈」(p.175~201) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第3章 E-5「不整脈」(p.54) 病態生理学:第6章 A-2-b「心筋収縮の指令の障害(不整脈)」(p.97~100) 臨床外科看護各論:第2章 I-A-4「不整脈の外科的治療」(p.105~107) 臨床検査:第10章 I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学:第3章 D「不整脈」(p.99~104)
		g 炎症性疾患(感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎)	成人看護学 [3] (循環器):第5章 E「弁膜症」(p.201~207)、F「心膜炎」(p.207~209) 成人看護学 [11] (感染症):第5章 D「心血管系感染症」(p.292~293) 病理学:第10章 B-7「心内膜と心膜の疾患」(p.183~184) 病態生理学:第6章 A-2-c-2「弁膜の機能不全」(p.103~105)、A-2-d「心膜の障害」(p.105~106) 臨床外科看護各論:第2章 I-A-3-a-4「感染性心内膜炎」(p.98~99) 臨床検査:第5章 A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章 I-A「循環機能検査」(p.289~308)
		h 弁膜症(大動脈弁 疾患、僧帽弁疾 患)	成人看護学 [3](循環器):第5章 E「弁膜症」(p.201~207) 病理学:第10章 B-8「心臓弁膜症」(p.185~186)
	B 血管系の疾患の病態と診断・治療	a 大動脈瘤、大動脈 解離	成人看護学 [3] (循環器):第5章 J-1「大動脈瘤」(p.223~225) 病理学:第10章 A-3「動脈瘤・大動脈瘤解離」(p.173) 病態生理学:第6章 B-2-c-2「動脈瘤」(p.115) 臨床外科看護各論:第2章 I-B-3「動脈瘤」(p.123~130)
		b 閉塞性動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器):第5章 J-3-4「閉塞性動脈硬化症」(p.227) 病理学:第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170~173) 病態生理学:第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115) 臨床外科看護各論:第2章 I-B-2-2「慢性動脈閉塞」(p.114~118)
		c 挫滅症候群	救急看護学:第5章 I−1−3「各部の外傷」四肢外傷(p.246~247)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 下肢静脈瘤、深部 静脈血栓症	成人看護学 [2] (呼吸器):第5章 D-1「肺血栓塞栓症」(p.188~191) 成人看護学 [3] (循環器):第5章 K-3「静脈瘤」(p.230~231) 病理学:第3章 F-1「血栓塞栓症」(p.37~38)、第10章 A-4「静脈の疾患」(p. 173~174) 病態生理学:第6章 B-2-d「静脈の障害」(p.115~117) 臨床外科看護各論:第2章 I-B-4-1「下肢静脈瘤」(p.130~133)、I-B-4-2 「深部静脈血栓症」(p.133~135)
	C 血圧異常の病態と 診断・治療	a 動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器):第5章 A-3「冠状動脈硬化の危険因子」(p.145~151) 病理学:第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170~173) 病態生理学:第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115)
		b 本態性高血圧	成人看護学 [3] (循環器):第5章 C-2「本態性高血圧」(p.170~172) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第3章 E-1「高血圧」(p.52~53) 病理学:第3章 J「高血圧症」(p.44~46) 病態生理学:第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」(p.114) 臨床薬理学:第3章 A「高血圧症」(p.80~85)
		c 二次性高血圧	成人看護学 [3] (循環器):第5章 C-3「二次性高血圧」(p.172~174) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第3章 E-1「高血圧」(p.52~53) 病理学:第3章 J「高血圧症」(p.44~46) 病態生理学:第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」(p.114) 臨床薬理学:第3章 A「高血圧症」(p.80~85)
		d 起立性低血圧	成人看護学 [3] (循環器):第5章 C-4-1「起立性低血圧」(p.174)
	D ショックの病態と 診断・治療	a 心原性ショック	成人看護学 [3] (循環器):第3章 H「ショック」(p.44~46) 病理学:第3章 I「ショック」(p.42~44) 救急看護学:第5章 D「ショック・循環障害への対応」(p.197~205)
		b 出血性ショック	成人看護学 [3] (循環器):第3章 H「ショック」(p.44~46) 病理学:第3章 I「ショック」(p.42~44) 救急看護学:第5章 D「ショック・循環障害への対応」(p.197~205)
		c 血流分布異常性 ショック	成人看護学 [3] (循環器):第3章 H「ショック」(p.44~46) 病理学:第3章 I「ショック」(p.42~44) 病態生理学:第6章 B-2-a-2「ショック」(p.112~114) 救急看護学:第5章 D「ショック・循環障害への対応」(p.197~205)
7 栄養の摂取・	A 口腔、咽頭の疾患 の病態と診断・治 療	a 炎症性疾患(咽頭 炎、扁桃炎)	成人看護学 [11] (感染症):第5章 B-2「急性咽頭炎・扁桃腺炎」(p.288) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉):第5章 C-2-1「咽頭炎」(p.148~149)、C-2-2 「急性扁桃炎」(p.149~150)、C-2-3「慢性扁桃炎(反復性扁桃炎)」(p.150~ 151) 病理学:第12章 A「鼻腔・咽頭・喉頭の疾患」(p.202~205)
消化		b   う歯、歯周病 	成人看護学 [15] (歯・口腔):第5章 A-1「齲蝕および歯髄疾患」(p.84~93)、 B「口腔領域の炎症」(p.97~101)
・吸収・代謝機能		C 腫瘍(舌癌、咽頭 癌)	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉):第5章 C-1-7「口腔内腫瘍」(p.147~148)、C-2-8「咽頭がん」(p.155~157) 成人看護学 [15] (歯・口腔):第5章 E-2「悪性腫瘍」(p.124~128) 病理学:第12章 A-7「悪性腫瘍」(p.205) 臨床外科看護各論:第5章 I-A-4「口腔がん」(p.438)、I-A-6「咽頭がん」 (p.439~440)
	B 上部消化管の疾患 の病態と診断・治 療	a 炎症性疾患(逆流 性食道炎、急性胃 炎、慢性胃炎、ヘ リコバクターピロ リ感染症)	成人看護学 [5] (消化器):第5章 A-3「胃食道逆流症」(p.149~152)、B-2「胃炎」(p.154~156)、B-3「胃・十二指腸潰瘍」(p.156~165) 病理学:第13章 A-3「食道の疾患」(p.227~228)、B「胃の疾患」(p.228~234) 病態生理学:第8章 B-2-2「逆流防止機構の障害」(p.147)、C-1「胃の防御機能の破綻」(p.148~150) 臨床外科看護各論:第3章 I-A-4「逆流性食道炎」(p.176~178) 臨床検査:第5章 B-6「ペプシノゲン(PG)」(p.144)、第8章 C-1-4「グラム陰性桿菌」(p.261~264) 臨床薬理学:第3章 I「胃食道逆流症」(p.132~136)
		b 潰瘍性疾患(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)	成人看護学 [5] (消化器):第5章B「胃・十二指腸疾患」(p.152~172) 病理学:第13章 B-2「胃の疾患」(p.229~231)、C-2「腸の疾患」(p.234~ 240) 病態生理学:第8章 C-1「胃の防御機構の破綻」(p.148~150)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床外科看護各論:第3章 I -B-2「胃・十二指腸潰瘍」(p.188~193) 臨床検査:第7章 J「消化管ホルモンの検査」(p.234~235)、第10章Ⅲ「内視 鏡検査」(p.345~355) 臨床薬理学:第3章 H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125~131)
		c 腫瘍(食道癌、胃 癌)	成人看護学 [5] (消化器):第5章 A-1「食道がん」(p.142~148)、B-4「胃がん」(p.165~172) 病理学:第13章 A-3-3「食道がん」(p.228)、B-2-3「胃がん」(p.231)、C-2-6 「大腸がん」(p.239) 病態生理学:第8章 B-2-3「食道がん」(p.148)、D-3「胃がん」(p.151) 臨床外科看護各論:第3章 I -A-7「食道がん」(p.179~184)、I -B-3「胃がん」 (p.193~201) がん看護学:第4章 A-4「手術の種類」(p.141~150) 臨床検査:第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345~355)
	C 下部消化管の疾患 の病態と診断・治 療	a 炎症性疾患 (潰瘍性大腸炎、 Crohn〈ク ロ ー ン〉病、虫垂炎、 痔瘻)	成人看護学 [5] (消化器):第5章 C-2「腸炎」(p.173~178)、C-4「虫垂炎」(p.184~186) 成人看護学 [11] (感染症):第5章 E-2「虫垂炎」(p.296) 病理学:第13章 C-2「腸の疾患」(p.234~240) 臨床外科看護各論:第3章 I -C-4「非特異性炎症性腸疾患」(p.210~217)、I-C-6「虫垂炎」(p.219~220)、I -C-12-2「痔瘻」(p.239) 臨床検査:第6章 A「炎症マーカーの検査」(p.187~188)
		b イレウス	成人看護学 [5] (消化器):第5章 C-6「腸閉塞症」(p.190~195) 病理学:第13章 C-1-5「腸閉塞とイレウス」(p.240) 病態生理学:第8章 D-3-2「腸閉塞」(p.154~155) 臨床外科看護各論:第3章 I -C-7「イレウス」(p.220~223)
		c 腫瘍(大腸ポリー プ、結腸癌、直腸 癌)	成人看護学 [5] (消化器):第5章 C-9「腸管ポリープおよびポリポーシス」(p. 198~201)、C-10「大腸がん」(p.201~207) 病理学:第13章 C-2「腸の疾患」(p.234~240) 臨床外科看護各論:第3章 I-C-9「腸管ポリープ」(p.225~228)、I-C-11-1 「大腸がん」(p.229~236) がん看護学:第4章 A-4「手術の種類」(p.141~150) 臨床検査:第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345~355)
		d 排便障害(便秘、 下痢)	成人看護学 [5] (消化器):第3章 F「下痢」(p.51~52)、G「便秘」(p.52~55) 臨床薬理学:第2章 C「便秘治療薬」(p.52~56)、D「下痢治療薬」(p.57~59)
	D 肝臓・胆嚢・膵臓 の疾患の病態と診 断・治療	a 炎症性疾患(肝炎、 胆管炎、膵炎)	成人看護学 [5] (消化器):第5章 D-1「肝炎」(p.210~230)、D-8「急性胆嚢炎および胆管炎」(p.252~253)、E-1「膵炎」(p.257~261) 成人看護学 [11] (感染症):第5章 F「肝胆道系感染症」(p.297~301) 病理学:第13章 D-2「肝臓・胆管・胆嚢の疾患」(p.242~247)、E-2「膵臓の疾患」(p.251) 病態生理学:第8章 E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160~164)、F-2「膵臓の機能の障害」(p.169~170) 臨床外科看護各論:第3章 I-D-8「胆嚢炎・胆管炎」(p.267~269)、I-G-3「膵炎」(p.296~298) 臨床検査:第5章 B「血清酵素の検査」(p.139~144) 臨床薬理学:第3章 J「慢性肝炎」(p.137~145)
		b 肝硬変	成人看護学 [5] (消化器):第5章 D-2「肝硬変症」(p.230~237) 病理学:第13章 D-2-5「肝硬変症」(p.247) 病態生理学:第8章 E-2-4「肝硬変」(p.161) 臨床検査:第5章 B「血清酵素の検査」(p.139~144)
		c 腫瘍(肝癌、胆囊 癌、胆管癌、膵癌)	成人看護学 [5] (消化器):第5章 D-5「肝(臓)がん」(p.243~247)、D-9「胆管がん」(p.253~254)、D-10「胆嚢がん」(p.254~255)、E-2「膵(臓)がん」(p.262~264) 病理学:第13章 D-2-6「肝がん」(p.248)、E-2-3「膵がん」(p.252)、第15章 B-5「膵島の疾患」(p.285) 病態生理学:第8章 E-2-6「肝がん」(p.163)、F-2-3「膵臓がん」(p.170) 臨床外科看護各論:第3章 I-D-3「肝(臓)がん」(p.252~260)、I-D-10「胆道がん」(p.269~272)、I-G-5「膵(臓)がん」(p.296~298) 臨床検査:第6章 G「腫瘍マーカーの検査」(p.201~204)
		d 脂肪肝、アルコー ル性肝炎	成人看護学 [5] (消化器):第5章 D-1-7「アルコール性肝障害」(p.226)、D-1-8「脂肪肝」(p.227) 病理学:第13章 D-2-3「脂肪性肝疾患」(p.245~246) 病態生理学:第8章 E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160~164)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<b>臨床検査</b> :第5章B「血清酵素の検査」(p.139~144)
		e 胆石症	成人看護学 [5] (消化器):第3章 D-7「胆石症」(p.248~252) 病理学:第6章 D-4「黄疸」(p.102~103)、第13章 D-2-7「胆嚢炎,胆石症」 (p.250) 病態生理学:第8章 E-4「胆汁産生と胆道の障害」(p.165~166) 臨床外科看護各論:第3章 I -D-7「胆石症」(p.263~267) 臨床検査:第5章 E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.157~160)
	E 腹壁・腹膜・横隔 膜の疾患の病態と 診断・治療	a 鼠径ヘルニア	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論): 第9章 B-7-6「外鼠径ヘルニア」(p.258 ~259) 臨床外科看護各論: 第3章 I -H-2-1「鼠径部ヘルニア」(p.311)、第6章 I -C-23「鼠径ヘルニア」(p.506)
		b 腹膜炎	成人看護学 [5] (消化器):第5章 C-3「腹膜炎」(p.180~184)
		c 横隔膜ヘルニア、 吃逆	成人看護学[2](呼吸器):第 5 章 J-3-1「吃逆(しゃっくり)」(p.220)、J-3-3 「横隔膜ヘルニア」(p.220~221)
8 内部環境調節機能	A 内分泌系の疾患の 病態と診断・治療	a 間脳・下垂体疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 A-1「視床下部-下垂体前葉系疾患」 (p.82~94)、A-2「視床下部-下垂体後葉系疾患」(p.94~97) 成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 A-2-2「おもな脳腫瘍」(p.149~153) 病理学:第15章 B-1「下垂体の疾患」(p.277~279) 病態生理学:第10章 A-2「視床下部-下垂体系のはたらきとその異常」(p.197~200) 臨床外科看護各論:第4章 I-A-4-4「下垂体腺腫」(p.389~391) 臨床検査:第7章 A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.212~216)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.216~217)
		b 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 A-3「甲状腺疾患」(p.97~112) 病理学:第15章 B-2「甲状腺の疾患」(p.279~281) 病態生理学:第10章 B-3「甲状腺のはたらきとその異常」(p.200~203) 臨床外科看護各論:第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444~455) 臨床検査:第7章 C「甲状腺ホルモンの検査」(p.218~224)
		c 副甲状腺〈上皮小 体〉疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 A-4「副甲状腺疾患」(p.113~119) 病理学:第15章 B-3「副甲状腺の疾患」(p.281~282) 病態生理学:第10章 A-4「副甲状腺のはたらきとその異常」(p.204~205) 臨床外科看護各論:第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444~455) 臨床検査:第7章 D「副甲状腺ホルモンの検査」(p.224~225)
		d 副腎皮質・髄質疾 患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 A-5「副腎疾患」(p.119~125) 病理学:第15章 B-4「副腎の疾患」(p.282~284) 病態生理学:第10章 A-5「副腎皮質のはたらきとその異常」(p.205~208)、B- 6「副腎髄質のはたらきとその異常」(p.208) 臨床外科看護各論:第3章 I-I「副腎の疾患」(p.312~319) 臨床検査:第7章 E「副腎皮質ホルモンの検査」(p.225~230)、F「副腎髄質ホ ルモンの検査」(p.230~231)
		e 腫瘍(下垂体腫瘍、 甲状腺癌)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 A-1「視床下部-下垂体前葉系疾患」 (p.82~94)、A-2「視床下部-下垂体後葉系疾患」 (p.94~97)、A-3-6「甲状腺腫瘍」 (p.108~112)、A-8「多発性内分泌腫瘍症」 (p.128) 病理学:第15章 B-1-2「下垂体腺腫」 (p.278)、B-2-5「甲状腺がん」 (p.281) 臨床外科看護各論:第4章 I-A-4-4「下垂体性腺腫」 (p.389~391)、第5章 I-B-3「甲状腺腫瘍」 (p.450~453) 臨床検査:第7章 A「下垂体前葉ホルモンの検査」 (p.212~216)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」 (p.216~217)、C「甲状腺ホルモンの検査」 (p.218~224)
	B 代謝異常の疾患の 病態と診断・治療	a メタボリックシン ドローム、肥満症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 B-3「肥満症とメタボリックシンドローム」(p.177~183) 病理学:第6章 A-1「肥満」(p.94) 臨床検査:第5章 D「脂質代謝の検査」(p.151~157)
		b 糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 B-1「糖尿病」(p.132~164) 病理学:第6章 C「糖尿病」(p.98~100) 病態生理学:第10章 B「糖代謝とその異常」(p.209~214) 臨床検査:第5章 C「糖代謝の検査」(p.144~151)

		系統看護学講座の該当箇所
		臨床薬理学:第3章 M「糖尿病」(p.159~168)、第4章 C「インスリンの投与量の調整」(p.252~258)
	c 脂質異常症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 B-2「脂質異常症」(p.164~177) 病理学:第6章 A-4「脂質異常症」(p.96~97) 病態生理学:第10章 C「脂質代謝とその異常」(p.215~217) 臨床検査:第5章 D「脂質代謝の検査」(p.151~157) 臨床薬理学:第3章 N「脂質異常症」(p.169~174)
	d 高尿酸血症、痛風	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 B-4「尿酸代謝異常」(p.183~187) 病理学:第6章 D-2「痛風」(p.101) 病態生理学:第10章 D「尿酸代謝とその異常」(p.217~218) 臨床検査:第5章 F「窒素化合物の検査」(p.160~161)
	e ビタミン欠乏症	生化学:第2章 D「ビタミン」(p.39~43) 栄養学:第9章 F-5-4「ビタミンの欠乏症・過剰症」(p.219~220) 臨床検査:第5章 M「ビタミンの検査」(p.182)
C 体液調節の疾患の 病態と診断・治療	a 水・電解質の異常 (脱水、浮腫、低 ナトリウム血症、 高カリウム血症)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第3章 C「浮腫」(p.49~51)、D「脱水」(p.51~52)、E-4「電解質の異常」(p.57~58) 病態生理学:第4章 A-2「体液・電解質の異常」(p.59~65) 救急看護学:第5章 G「体液・代謝異常への対応」(p.223~230) 臨床検査:第5章 I「水・電解質の検査」(p.169~174) 臨床薬理学:第4章 A-5「持続点滴中の糖質・電解質輸液の投与量の調整」(p.231~237)、B-1「脱水症状に対する輸液による補正」(p.238~243)
	b 酸塩基平衡の異常 (アシドーシス、 アルカローシス)	成人看護学 [2] (呼吸器):第2章 B-4「酸塩基平衡」(p.38~39)、第4章 B-8-2「酸塩基平衡」(p.104~107) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第3章 E-5「酸塩基平衡の障害」(p.58~59) 病態生理学:第4章 B-2「酸・塩基平衡の異常」(p.67~70) 臨床検査:第5章 J「血液ガス分析」(p.174~179)
A 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	a 貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、骨髓異形成症候群、二次性貧血)	成人看護学 [4] (血液・造血器):第3章 A-1「貧血」(p.35)、C-1「貧血」(p.42~44)、第4章 A「赤血球系の異常」(p.54~72) 病理学:第11章 A-2「貧血」(p.190~191) 病態生理学:第5章 B-2「赤血球の障害」(p.75~79)
	b 白血球減少症	成人看護学 [4] (血液・造血器):第3章 C-3「白血球減少症」(p.45~47)、第4章 B-1「無顆粒球症」(p.72) 病理学:第11章 A-3-2「白血球減少症」(p.192) 病態生理学:第5章 C-2-1「白血球減少症」(p.82)
	c 出血性疾患(血栓性血小板減少性紫斑病〈TTP〉、免疫性血小板減少性紫斑病〈ITP〉、播種性血管內凝固〈DIC〉)	成人看護学 [4] (血液・造血器):第4章 D「出血性疾患」(p.134~143) 病理学:第3章 K「播種性血管内凝固」(p.47~48)、第11章 A-7「出血性疾患」 (p.195~196) 病態生理学:第5章 D-2「出血傾向」(p.86~88) クリティカルケア看護学:第3章 G「凝固・線溶系障害」(p.146~153)
	d 腫瘍(白血病、悪 性リンパ腫、多発 性骨髄腫)	成人看護学 [4] (血液・造血器):第4章 C「造血器腫瘍」(p.74~134) 病理学:第11章 A-4「白血病」(p.192)、A-6「形質細胞腫と多発性骨髄腫」 (p.194)、B-2「悪性リンパ腫」(p.196~199) 病態生理学:第5章 C-3「白血球の腫瘍化」(p.82~84)
A 自己免疫疾患の病態と診断・治療	a 全身性エリテマ トーデス〈SLE〉	成人看護学 [11] (膠原病):第5章B「全身性エリテマトーデス」(p.156~161) 病理学:第4章C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69) 病態生理学:第3章C-2-2「全身性自己免疫疾患」(p.52)
	b 関節リウマチ	成人看護学 [10] (運動器):第5章 I-B-2「関節リウマチとその類縁疾患」(p. 132~140) 成人看護学 [11] (膠原病):第5章 A「関節リウマチ」(p.150~156) 生化学:第14章 B-3-2「● JAK-STAT シグナル伝達経路」(p.258~259) 病理学:第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)、第17章 4-3「関節リウマチ」(p.309) 病態生理学:第3章 C-2-2「全身性自己免疫疾患」(p.52) リハビリテーション看護:第3章 C「関節リウマチ」(p.116~133) 臨床薬理学:第3章 P「関節リウマチ」(p.179~184)
	病態と診断・治療  A 血液・造血器の疾・治療  治療  自己免疫疾患の病	C 体液調節の疾患の病態と診断・治療       a 水・電解質の異性である。 (脱・トリウム血症)         B (脱・トカリウム血症)       b (脱・トカリウム血症)         B (脱・トカリウム血症)       b (数・大・アルカローの異性の異性の異性の異性の異性の異性の異性の異性の異性の異性の異性の異性の異性の

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c Sjögren 〈シェーグレン〉 症候群	成人看護学 [11] (膠原病):第5章 D「シェーグレン症候群」(p.163~164) 病理学:第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69) 病態生理学:第3章 C-2-2「全身性自己免疫疾患」(p.52)
	B アレルギー性疾患 の病態と診断・治 療	a 花粉症(アレル ギー性鼻炎)	成人看護学 [11] (アレルギー):第4章B「アレルギー性鼻炎・結膜炎」(p.42~43) 病理学:第4章C-1-1「I型アレルギー(即時型アレルギー)」(p.61~62) 病態生理学:第3章C-1「I型アレルギー」(p.46~48) 臨床検査:第6章E「アレルギー検査」(p.199~200)
		b 蕁麻疹	成人看護学 [11] (アレルギー):第4章 F「蕁麻疹」(p.50) 成人看護学 [12] (皮膚):第5章 A-2-1「蕁麻疹」(p.88~90) 病理学:第18章 B-3「蕁麻疹」(p.316) 病態生理学:第3章 C-1「I型アレルギー」(p.46~48)
		c 接触皮膚炎	成人看護学 [11] (アレルギー):第4章 G「接触皮膚炎」(p.50~51) 成人看護学 [12] (皮膚):第5章 A-1-2「接触皮膚炎」(p.84~85) 病理学:第4章 C-1-4「IV型アレルギー(遅延型アレルギー)」(p.66)、第17章 B-3「接触皮膚炎」(p.316) 病態生理学:第3章 C-4「IV型アレルギー」(p.50)
		d アナフィラキシー ショック	成人看護学 [11] (アレルギー):第4章 D「アナフィラキシー」(p.45~48) 病理学:第3章 I「ショック」(p.42~44) 病態生理学:第6章 B-2-a-1「ショック」(p.112~114) 救急看護学:第5章 D「ショック・循環障害への対応」(p.197~205)
	C 免疫低下に関連す る疾患の病態と診 断・治療	a 敗血症	成人看護学 [11] (感染症):第2章 C-2「敗血症と敗血症性ショック」(p.244~245)、第5章 M「菌血症・敗血症」(p.316~318) 病理学:第5章 A-1「感染と体内での拡散」(p.76~79) 病態生理学:第1章 B-4-4「敗血症」(p.14) 救急看護学:第5章 D-NOTE「敗血症」(p.199)
		b ヒト免疫不全ウイ ルス〈HIV〉感染 症	成人看護学 [11] (感染症):第5章 R-1「HIV 感染症」(p.333~337) 母性看護学 [2] (母性看護学各論):第7章 I B-14「後天性免疫不全症候群(エイズ)」(p.381) 病理学:第4章 B-4「免疫不全症」(p.60) 病態生理学:第3章 B-3「T 細胞の機能低下」(p.45) 微生物学:第16章 B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.349~351)
11 神経機能	A 中枢神経系の疾患 の病態と診断・治 療	a 脳血管障害(脳内 出血、くも膜下出 血、脳梗塞、もや もや病)	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 A-1「脳血管障害」(p.122~147) 病理学:第16章 A-2「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)」(p.288~293) 病態生理学:第12章 B-2「脳循環障害」(p.240~242) 臨床外科看護各論:第4章 I -A-3「脳血管疾患」(p.381~385) リハビリテーション看護:第4章 A「脳血管障害」(p.136~196)
		b 頭蓋内圧亢進症	成人看護学 [7] (脳・神経):第3章 B-6「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア(脳嵌入)」(p.80~83)、第5章 A-2「脳腫瘍」(p.147~153) 病理学:第16章 A-2-6「頭蓋内圧亢進症」(p.293) 病態生理学:第12章 C-2「脳圧の異常による障害」(p.243) 救急看護学:第5章 B-2-1「意識障害時の救急処置」(p.182~184)
		c 変性疾患 (Parkinson 〈パーキンソン〉 病、筋萎縮性側索 硬化症〈ALS〉)	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 E-2「脳・神経の変性疾患」(p.192~204) 病理学:第16章 A-4「変性疾患」(p.297~299) 病態生理学:第12章 H-3-2「パーキンソン病」(p.262~264)、I-2「筋萎縮性側 索硬化症(ALS)」(p.262~263) リハビリテーション看護:第4章 B「パーキンソン病」(p.197~226) 臨床薬理学:第3章 Q「パーキンソン病」(p.185~190)
		d 脱髄疾患(多発性 硬化症)	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 E-1「脱髄疾患」(p.189~192) 病理学:第16章 A-5「脱髄疾患」(p.300~301) 病態生理学:第12章 A-5-1「多発性硬化症」(p.300~301)
		ルツハイマー〉 病、血管性認知 症、 Lewy 〈レ	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 「認知症」(p.225~233) 老年看護 病態・疾患論:第4章A「認知症」(p.135~150) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-7-1「認知症」(p.210~215) 病理学:第16章 A-4-1「アルツハイマー病」(p.286~287) 病態生理学:第12章 G-3「認知症」(p.252) 臨床薬理学:第3章R「認知症(アルツハイマー病)」(p.191~195)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 感染症(脳炎、髄 膜炎)	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章F「脳・神経系の感染症」(p.205~215) 成人看護学 [11] (感染症):第5章K「中枢神経感染症」(p.311~313) 病理学:第16章 A-3「脳・神経系の感染症」(p.294~297) 病態生理学:第12章 D-4「髄膜炎と脳炎」(p.245)
		g 頭部外傷	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 A-3「頭部外傷」(p.153~158) 病理学:第16章 A-2-5「頭部外傷」(p.292) 臨床外科看護各論:第4章 I-A-2「頭部外傷」(p.378~381) 救急看護学:第5章 I-1-3「各部の外傷」頭頸部・顔面外傷(p.241~243)
		h 脊髄損傷	成人看護学 [10] (運動器):第5章 I -D-1「脊髄損傷」(p.110~112) 臨床外科看護各論:第4章 I -B-4「外傷に伴う脊髄疾患」(p.398~400) 救急看護学:第5章 I-1-3「各部の外傷」脊髄・脊椎損傷(p.243) リハビリテーション看護:第4章 C「脊髄損傷」(p.226~259)
		i 機能性疾患(てんかん)	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章H「てんかん」(p.218~225) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-9「てんかん」(p.225~227) 病態生理学:第12章 E「頭痛」(p.247~248)、H-4「けいれん・てんかん」(p. 256~258) 臨床薬理学:第3章T「てんかん」(p.203~208)
		j 腫瘍(脳腫瘍)	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 A-2「脳腫瘍」(p.147~153) 病理学:第16章 A-6「脳腫瘍」(p.301~302) 病態生理学:第12章 D「脳腫瘍」(p.245~246) 臨床外科看護各論:第4章 I-A-4「脳腫瘍」(p.385~392)
	B 末梢神経系の疾患 の病態と診断・治 療	a Guillain-Barré 〈ギラン・バレー〉 症候群	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 C-3「ギラン-バレー症候群」(p.171~172) 成人看護学 [10] (運動器):第5章Ⅱ-F-3-2「多発性ニューロパチー」(p.161) 病理学:第16章 A-7-1「末梢神経障害」(p.302)
		b 圧迫性神経障害	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章 C-5「単ニューロパチー」(p.173~176) 病態生理学:第12章 H-6-2「末梢神経の圧迫障害」(p.260~261)
		c 顔面神経麻痺 (Bell〈ベル〉麻 痺)	成人看護学[7](脳・神経):第5章 C-7「顔面神経麻痺」(p.177~179) 病態生理学:第12章 H-NOTE「ベル麻痺」(p.260) 救急看護学:第4章 D-1-2「視診」(p.121~123)
		d 自律神経失調症	成 <mark>人看護学</mark> [7] (脳・神経):第3章 B-5「自律性のある機能の障害」(p.78~ 79)
	C 感覚器系の疾患の 病態と診断・治療	a 視覚障害(白内障、 緑内障、網膜剝 離、網膜症)	成人看護学 [7] (脳・神経):第3章 B-4-2「特殊感覚の障害」(p.72~73)、B-5-1「対光反射の障害と瞳孔不同」(p.73~74) 成人看護学 [13] (眼):第3章 A「視機能に関連した症状」(p.28~31)、第5章 B-7「網膜・硝子体の疾患と手術」(p.98~106)、第5章 B-8「水晶体の疾患と手術」(p.107~111) 病理学:第18章 A-1「眼の疾患」(p.312~314) 病態生理学:第13章 A「視覚器の機能とその異常」(p.266~270) リハビリテーション看護:第6章 A「視覚障害」(p.304~324)
		b 聴覚障害(難聴、 Ménière 〈メ ニ エール〉病)	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉):第3章 A-1「難聴」(p.45~46)、第5章 A-3-2「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」(p.119~121)病理学:第18章 A-1「耳の疾患」(p.314~315)病態生理学:第13章 B「聴覚器の機能とその異常」(p.270~274)リハビリテーション看護:第6章 B「聴覚障害」(p.324~334)
		c 嗅覚・味覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉):第3章 B-3「嗅覚障害」(p.50)、第5章 C-1-6 「味覚障害」(p.147) 成人看護学 [15] (歯・口腔):第3章 B-6「味覚障害」(p.44) 病態生理学:第13章 C「味覚・嗅覚とその異常」(p.274~276)
		d 皮膚障害(湿疹、 アトピー性皮膚 炎、帯状疱疹、疥 癬、蜂窩織炎)	成人看護学 [11] (アレルギー):第4章 E「アトピー性皮膚炎」(p.48~50) 成人看護学 [12] (皮膚):第5章 A-1「湿疹・皮膚炎群」(p.82~88)、F-5-2 「帯状疱疹」(p.146~147)、F-7-3「疥癬」(p.152~153) 病理学:第18章 B「皮膚の疾患」(p.315~318) 病態生理学:第2章 A-3「体内の反応による皮膚の異常」(p.31~33)
12 運動機能	A 骨・関節の疾患の 病態と診断・治療	a 骨折、脱臼、捻挫	成人看護学 [10] (運動器):第5章 I 「外傷性(外因性)の運動器疾患」(p.86~121) 病理学:第17章 1「骨折」(p.306) リハビリテーション看護:第3章 B「骨折」(p.92~115)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 骨粗鬆症	成人看護学 [10] (運動器):第5章 D-1「骨粗鬆症」(p.151~152) 老年看護 病態・疾患論:第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.237~240) 病理学:第17章3「骨粗鬆症」(p.306) 病態生理学:第10章 E-2-2「骨粗鬆症」(p.219) 臨床薬理学:第3章 O「骨粗鬆症」(p.175~178)
		c 腫瘍(骨肉腫)	成人看護学 [10] (運動器):第5章 C「骨腫瘍および軟部腫瘍」(p.143~150) 病理学:第17章 6「骨肉腫」(p.310)、7「転移性骨腫瘍」(p.310)
		d 変形性関節症	成人看護学 [10] (運動器):第5章 B-7「関節の変性疾患:変形性関節症」(p. 141~143) 老年看護 病態・疾患論:第4章 J-2「変形性膝関節症」(p.232~233) 病理学:第17章 4-2「変形性関節症」(p.308)
		e 腰痛症(椎間板へ ルニア、腰部脊柱 管狭窄症)	成人看護学 [10] (運動器):第5章 H-3「腰部脊柱管狭窄症」(p.167~168)、 H-5「椎間板ヘルニア」(p.169~170) 老年看護 病態・疾患論:第4章 J-4「椎間板ヘルニア」(p.234~225)、J-5 「腰部脊柱管狭窄症」(p.236) 病理学:第17章5「椎間板ヘルニア」(p.309) 臨床外科看護各論:第4章 I -B-2「腰椎疾患」(p.394~396)
		f 炎症性疾患(骨・ 骨髄炎、関節炎)	成人看護学 [10] (運動器):第5章 B「骨・関節の炎症性疾患」(p.129~143) 病態生理学:第17章 2「骨髄炎」(p.306)、「関節炎」(p.308~309)
	B 筋肉・神経筋接合 部の疾患の病態と 診断・治療	a 筋ジストロフィー	成人看護学[7](脳・神経):第5章 D-1「筋ジストロフィー」(p.179~183) 病理学:第 16章 B-1「進行性筋ジストロフィー」(p.303) 病態生理学:第 12章 I-4「進行性筋ジストロフィー」(p.263)
		b 重症筋無力症	成人看護学 [7] (脳・神経):第 5 章 D-7「重症筋無力症」(p.186~188) 病理学:第 16 章 B-2「重症筋無力症」(p.304) 病態生理学:第 12 章 I-3「重症筋無力症」(p.263)
13 排泄機能	A 泌尿器系の疾患の 病態と診断・治療	a 腎炎、慢性腎臓病	成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第5章 A-4「慢性腎臓病」(p.121~123)、C 「糸球体腎炎」(p.127~133)、D「全身性疾患による腎障害」(p.133~142) 病理学:第14章 A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254~260) 病態生理学:第9章 B「腎機能の障害」(p.180~188) 臨床検査:第5章 H「腎機能の検査」(p.164~169) 臨床薬理学:第3章 K「慢性腎臓病(CKD)」(p.146~152)
		b 炎症性疾患(腎盂 腎炎、膀胱炎)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第5章I「尿路・性器の感染症」(p.152~158) 成人看護学 [11] (感染症):第5章G「尿路感染症」(p.301~302) 病理学:第14章A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254~260) 病態生理学:第11章C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191~193)
		c 腫瘍(腎癌、尿管 癌、膀胱癌)	成人看護学 [8](腎・泌尿器): 第5章 M「尿路・性器の腫瘍」(p.175~184) 病理学: 第14章 A-6「腎がん」(p.260)、A-7-3「尿路がん」(p.261) 病態生理学: 第11章 B-8「腎臓から発生する腫瘍」(p.188)、C-3「尿路系の悪 性腫瘍」(p.194)
		d 腎・尿路結石	成人看護学 [8](腎・泌尿器):第 5 章 L 「尿路結石症」(p.170~174) 病理学:第 14 章 A-7「尿路の疾患」(p.260~261) 病態生理学:第 11 章 C-2-2「通過障害」(p.192~193)
		e 排尿障害(過活動 膀胱、腹圧性尿失 禁、夜尿症)	成人看護学 [7] (脳・神経):第3章 B-5-3「排泄障害」(p.75~76) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第3章 B「排尿に関連した症状」(p.46~49) 病態生理学:第9章 C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191~193) リハビリテーション看護:第4章 A-5-9「排尿障害」(p.190~192)、C-5-3「排 尿障害」(p.245~248)
		f 腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第5章 A「腎不全と AKI・CKD」(p.115~123) 病理学:第14章 A-5「腎不全」(p.259~260) 病態生理学:第11章 B-7「腎不全」(p.185~188) 臨床検査:第5章 H「腎機能の検査」(p.164~169)
14 生 殖 機 能	A 生殖器系の疾患の 病態と診断・治療	a 女性生殖器の疾患 (子宮筋腫、子宮 内膜症、卵巣嚢腫)	成人看護学 [9] (女性生殖器):第5章 B-3-5「子宮筋腫」(p.124~127)、B-3-6「子宮内膜症」(p.127~129)、B-5-1「卵巣の良性腫瘍」(p.138~142)病理学:第14章 B-3「女性生殖器の疾患」(p.264~270)病態生理学:第11章 A「女性生殖器の機能とその異常」(p.222~229)
形		b 乳腺の疾患(乳腺 炎、乳腺症)	成人看護学 [9] (女性生殖器):第5章 B-7-3「乳腺良性腫瘍性疾患」(p.168~ 169)、B-7-5「炎症」(p.170~172)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			病理学:第14章 C「乳腺の疾患」(p.271~272) 臨床外科看護各論:第1章 I -D-2「その他の乳腺疾患」(p.36~37)
		c 男性生殖器の疾患 (前立腺炎、前立 腺肥大)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第5章 「尿路・性器の感染症」(p.152~158)、 J-5「前立腺肥大症」(p.163~165) 老年看護 病態・疾患論:第4章 -5-1「前立腺肥大症」(p.228~229) 病理学:第14章 B-2「男性生殖器の疾患」(p.262~264) 病態生理学:第11章 B-2「男性生殖器の異常」(p.232~233)
		d 腫瘍(乳癌、子宮 体癌、子宮頸癌、 卵巣癌、前立腺 癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第5章 M「尿路・性器の腫瘍」(p.175~184) 成人看護学 [9] (女性生殖器):第5章 B-3-3「子宮頸がん」(p.116~121)、B-3-4「子宮体がん」(p.121~124)、B-5-2「卵巣の悪性腫瘍」(p.142~145)、B-7-1「乳がん(乳腺悪性疾患)」(p.147~166) 病理学:第14章 B-3-5「子宮頸がん」(p.267~268)、B-3-6「子宮体がん」(p.268~269)、B-3-7「卵巣腫瘍」(p.269~270)、C-2-4「乳がん」(p.272) 病態生理学:第11章 A-4「子宮頸がんと子宮体がん」(p.227~228)、A-6「卵巣腫瘍」(p.229)、A-7「乳がん」(p.230~231)、B-2「男性生殖器の異常」(p.232~233) 臨床外科看護各論:第1章 I-D-1「乳がん」(p.26~36)
		e 生殖機能障害(月 経異常、更年期障 害)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝):第5章 A-6「性腺疾患」(p.125~126) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器):第3章 J-3「精巣および性機能障害」(p.65)、 O「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」(p.189~191) 成人看護学 [9] (女性生殖器):第5章 C-1「月経異常・月経随伴症状」(p.173~178)、C-2「更年期障害」(p.178~180) リハビリテーション看護:第4章 A-5-11「性機能障害」(p.194~195)、C-5-5 「性機能障害」(p.250~255)
15 精神機能	A 精神・心身の疾患 の病態と診断・治療	a 症状性を含む器質性精神障害 (Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー〉小体型認知症)、せん妄	成人看護学 [7] (脳・神経):第5章I「認知症」(p.225~233) 老年看護 病態・疾患論:第4章 A-4「認知症をきたす疾患の診断と治療」(p. 140~147) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-7「器質性精神障害」(p.209~219) 臨床薬理学:第3章 R「認知症(アルツハイマー病)」(p.191~195)
		b 精神作用物質使用 による精神・行動 の異常(アルコー ル依存症、覚醒 剤・大麻精神病)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-8「精神作用物質使用による精神 および行動の障害」(p.220~225)
		c 統合失調症	精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-2「統合失調症」(p.165~183)
		d 気分〈感情〉障害 (うつ病、双極性 障害)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-3「気分 [感情] 障害 [双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群]」(p.183~192) 臨床薬理学:第3章S「うつ病・うつ状態」(p.196~202)
		e 神経症性障害、ストレス関連障害 (パニック障害、 心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉、 適応障害〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-4「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」(p.193~203)
		f 生理的障害、身体 的要因に関連した 精神障害または行 動症候群(摂食障 害、不眠症、ナル コレブシー、睡眠 時無呼吸症候群)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-5「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」(p.203~209)
		g 小児・青年期の精 神・心身医学的疾 患、成人の人格・ 行動障害	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第18章B「おもな疾患」(p.496~509) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第5章 C-10「神経発達障害群」(p.227~ 232)